

NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

2018年7月20日

TB18-0689

塩野義製薬株式会社よりヒト iPS 細胞由来ミクログリア製造法の 全世界での独占実施権を取得

タカラバイオ株式会社は、塩野義製薬株式会社（以下「塩野義製薬」）より、同社が開発したヒト iPS 細胞由来ミクログリアの製造法に関する発明の譲渡を受けるとともに、その製造ノウハウの全世界での独占的実施権を取得しましたので、お知らせいたします。

ミクログリアは、脳や脊髄に存在するグリア細胞の一種で主に中枢神経系の免疫を担当しており、成長因子やサイトカインの放出や死細胞の貪食などの機能だけでなく、シナプスの監視・調整や神経新生にも関わるとされる重要な細胞です。疼痛の他に、アルツハイマー病やうつなどの中枢神経疾患との関わりが報告されており、近年創薬ターゲットや病態解明ツールとして注目されています。

しかし、均一な性能のヒト由来ミクログリアの入手は困難なため、研究開発の障害となっています。そのため、iPS 細胞から分化誘導したミクログリアの安定的な供給が期待されています。本製造法では、ヒト iPS 細胞から高品質かつ高純度のミクログリアを安定的に取得することが可能であり、当社は、本製造法を活用したミクログリア関連製品、関連したサービスの開発を目指します。

当社は、今後も iPS 細胞研究分野に関する新製品・サービスの開発および拡充に注力し、同分野における売上を拡大させてまいります。

<参考資料>

1. 塩野義製薬株式会社の概要

所在地	大阪府中央区道修町3丁目1番8号
事業内容	医薬品、臨床検査薬・機器の研究、開発、製造、販売など
資本金	212億7,974万2,717円
設立年月日	1919年6月5日
ホームページ	http://www.shionogi.co.jp/

2. 語句説明

グリア細胞

神経細胞とともに中枢神経系を構成する細胞で、主に神経細胞の分化や再生、維持などの働きを担っています。グリア細胞は、機能性の違いからミクログリアやアストロサイト、オリゴデンドロサイトなどに分類されます。

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先
タカラバイオ株式会社
広報・IR部
Tel 077-565-6970